

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 今回は都合により、レポート提出とした。

2、開催場所 各宅(事前に同録 CD を配布)

3、委員の出席(レポート提出数)

・委員総数 …… 8名

・レポート提出委員の氏名…本間美香委員長、瀬戸明委員、市島清貴委員、田辺とも子委員
本間幸美子委員、諸橋美香委員、遠藤愛子委員

・レポート未提出の氏名…野崎寛行委員

4、議題内容

(1)「ひとちん電波びより」(月・水・金 11:00～13:50)について
2023年1月12日(金)放送分から、11時台。

(2)次回の番組審議委員会の日程について

(1)「ひとちん電波びより」

本間美香委員長

・ひとちんさんとゆっきいさんの掛け合いが楽しく、また声のトーンも心地よく、家事をやりながら、仕事をしながら、車を運転しながら、いい意味で邪魔にならない番組だと思いました。

リスナーからのリクエスト曲が50代前後に刺さりそうな曲でしたので、その世代が多く聞いてらっしゃるのだなと感じました。

午後からのゲストについて、私は知らない方でしたので(勉強不足ですみません)、簡単でよいのもう少しゲストについてご紹介いただけるとイメージが湧いて、午後のリスナー数も伸びるかなと思いました。

瀬戸 明委員

・パーソナリティーの高野さん、竹内さんの波長の合った進行はよかったです。テンポも含めて。次に、今回の「ひとちん電波びより」ですが、テーマが「いいもの見つけた(いいこと見つけた)」でしたが、最初パーソナリティー側のリードはよかったです。

ただし、3回放送を聞きましたが、リスナーからの連絡でテーマのズレ(テーマと外れた点)があったように思いますので修正が一部必要かと。

パーソナリティーの竹内さんが、『足袋』を誤って読んだ点についての高野さんのカバーはよかったです。竹内さんについては、たくさん学習され、誤りのないようお願いしたいと思います。

番組進行の中で、防災について話をされた点は、すごくよかったですと思います。コミュニティ放送の使命だと私は思っています。

番組進行の後半にメガネの話が出ました。リスナー等との距離が縮むと思いますのでよかったです。

番組の最後に、日の丸観光タクシーと貴局との共同企画の「思い出に残る宿泊プラン」の話については、短い時間の中で説明するのは難しいことかと思いますが、越後平野弥彦連山の宿「穂々-hoho-」を選んだ理由や思い出作りについて説明があってもよかったのではないのでしょうか。

番組全体の流れは上手です！

市島清貴委員

・ひとちんとゆっきいから身近な楽しくおもしろい話題を取り上げて、音楽を数曲かけてもらえて、満足したリスナーは多かったのでしょうか。しかし、誰に向けて、どういうリスナーに対して番組を構成されているのか、私にはよくわかりませんでした。何を伝えたいのか、目的は何かもわかりません。

今回のテーマは「いいもの見つけた」ということでしたが、開始39分に「50年前の身体データが出てきて、痩せていた」という話、47分に「善光寺旅行がよかった、温泉で大島智子以上の美人女将がいた」とのことでしたが、私には興味がわく話題ではありませんでした。テーマを決めていたのであれば、リスナーからの投稿が少ないと想定して予め、ひとちんとゆっきいの「いいもの」をしっかりとしたストーリーに仕立てて、披露したらどうでしょうか。

繭玉の話は、ちょっとネットで調べるだけで、もう少しちゃんとした話ができたとと思います。リスナーからのメッセージを取り上げなければならないと思いますが、「抵当抹消手続き」や「メガネ」の話も個人的・プライベートな話で、面白くしたいのなら、ほかに伝え方があったのではないのでしょうか。

「防災ラジオの使命」という重要な話題が出ましたが、この時こそ、ラジオは〜との取り組みをきちんと伝えてほしかったです。FM局に誰が最初に来て、次は誰だったの話はいりません。ローカル局の存在価値は「災害報道」で問われます。元旦は、実際どのような対応をしたのか、その後は、また、今後はどうしていくのかなど、ラジオ人としてスラスラとお話してもらいたかったです。

後半の生ライブは聴いていないのでコメントできませんが、今度聞いてみたいです。

田辺とも子委員

・ゆっきいというアシスタントを得て、4〜5週目の放送は、聴くのに少し慣れました。ゆっきいの声質は親しみを感じます。また、番組で流れる曲に変化を感じます。

ひとちんとゆっきいの掛け合いは、まだまだスムーズとは思えませんが、何とか行われています。会話と進行が成り立っているのは、ひとちんの努力と経験の賜物ではないのでしょうか。2人の年代の違いが垣間見えるトークは、ほのぼのとして良いです。

「足袋」(あしぶくろ→たび)「私流」(しりゅう→わたくしりゅう)などの読み違いをひとちに突っ込まれていましたが、固有名詞に対する向き合い方も含め、今後、全方向に磨きをかけていってほしいです。

アシスタントのいない月曜・水曜の放送では、いつものペースで、のびのび話すひとちにホッとしているのは私だけでしょうか。

金曜日の放送にちょっとハラハラドキドキ感を覚えますが、寧ろそれを肯定的に捉え、楽しむ方向に転換できるかもしれません。今後を見守りたいです。

本間幸美子委員

・初めて拝聴しました。ひとちんとゆっきいの掛け合いが、姉妹のような、親子のような、ほのぼのとした感じで良かったです。

リスナーから寄せられる「いいもの見つけた」の内容について、お二人の反応が違うところも、世代による違い？というところで楽しく聞けました。

一番印象に残ったのは、今回の地震によって改めて災害時のラジオの重要性を感じたと同時に、常日頃から若い人からもラジオを聴いてもらうようにしていきたいという点で、お二人の熱い思いが伝わってきました。

災害時は、皆さんが情報を待っているので、いろいろな方法で正しい情報を早く伝える必要がありますし、その中でラジオは誰でも簡単に情報を得ることができる重要なツールだと思いますので、今後もよろしくお願いします。

「足袋」や「私流」は、若い方々はきっと馴染みがないですね。

諸橋美香委員

・「ひとちゃん電波びより」は、いい意味で邪魔にならない聞き流せる番組だと思いました。その中で、リスナーのリクエストだったり、時折流れる懐かしい曲だったり、誰もがイメージしているラジオのルーティンに変わらないことの重みや、安心感を強く感じました。

時代とともに、不適切とされるモノ・コトが増え、殺伐としていく世の中だからこそ、ひきつづき日常に潤いを与えてくれるような、やさしい番組作りに期待しています。

遠藤愛子委員

・ひとちゃんの心地よい声、いつまでも聞いていたい。ずーっと聴き入っていました。

「いいもの見つけた」は、もう少しインパクトのある投書があるとよかったです。流れる曲はすべて良かったです。ゆっきいさん、もう少し自己紹介があるとよいのでは(私だけ認識不足でしょうか)。

全体的に和やかで、心ほぐれるひとときでした。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について

令和6年3月を予定。

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日

自社放送 令和 6年 2月 14日(水)

書類のエントランスホールへの備置き 令和 6年 2月 14日(水)

自社 HP 上に記載 令和 6年 2月 16日(金)

6、その他、参考となる事項

特になし。